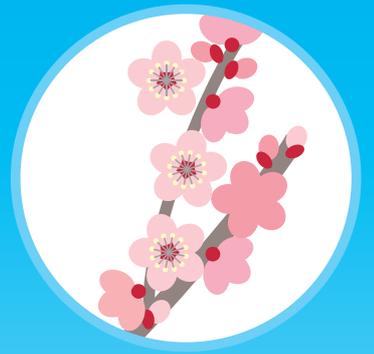


新しい奈良市のまちづくりに向けて



奈良市・月ヶ瀬村・都祁村では、  
地方分権の時代にふさわしいまちづくりを進めるため、  
個性豊かな地域が合併して、  
新しい奈良市をつくります。

# 新しい奈良市 が生まれます

## 奈良市の基本方向

奈良市では、平成13年4月に国際文化観光都市奈良の将来像を「世界遺産に学び、ともに歩むまち—なら」とする第3次総合計画をスタートさせ、先人から受け継いだ歴史や自然環境を守り育てるとともに、新しい時代に対応した文化を創造し、人と自然と文化を大切にすまちづくりを進めています。



## 月ヶ瀬地域の位置づけ

月ヶ瀬村は、平成15年3月に「夢・未来・誇りのもてる月ヶ瀬の郷 ～みんなの幸せと活力ある地域づくりをめざして～」を将来像とする第4次月ヶ瀬村総合計画を策定して、むらづくりを進めてきました。

これまでの取り組みにより、月ヶ瀬地域には、名勝「月瀬梅林」を中心とする自然資源を大切にしたい美しい景観、梅や茶などの特産物、温泉を活かした交流など、他の地域にはない地域資源が形成されています。

- ▶自然景観の保全と活用
- ▶農業を核とした活力の創造
- ▶地域資源を活かした集客・交流の促進

## 都祁地域の位置づけ

都祁村は、平成15年度に「人と自然が共生する活力溢れる新高原都市 都祁」を将来像とする都祁村将来ビジョンを策定し、まちづくりの基本方向を示しています。これまでの取り組みにより、広域交通へのアクセスの良さ、交通条件を活かした製造業の集積、農業生産から加工・流通・販売までを一体的にとらえた農業振興など、他の地域にはない特性をもつ地域となっています。

- ▶産業立地の促進による雇用創出
- ▶ひと・もの・情報が交流する拠点づくり
- ▶生産・加工・流通・販売が一体となった農業振興

# 新市建設計画の概要

## 新市建設計画とは

- 新市建設計画は、合併後のまちづくりを具体的にどのように進めていくのか、その方向性を示すため作成されたものです。
- この計画は、奈良市の総合計画を基本に、月ヶ瀬村及び都祁村の総合計画等を継承して作成されています。
- 計画の対象地域は、原則として月ヶ瀬地域及び都祁地域としていますが、奈良市の地域においても一体化に役立つと考えられる事業は対象としています。
- 計画の期間は、平成17年度から平成26年度までの10年間としています。

## 合併の背景

### 1. 地方分権に対応した行政体制の整備

地方分権が進む中、分権を担う主体として行政体制を整備する必要があります。

### 2. 多様化・高度化する住民のニーズへの対応

人々の価値観やライフスタイルが大きく変化する中、行政需要に的確に対応できる体制を整備する必要があります。

### 3. 厳しい財政状況への対応

少子高齢化による税収の減少と福祉関係費の支出増加が見込まれる中、行財政運営の効率化が求められています。

### 4. 魅力あるまちづくりの展開

貴重な観光資源、自然資源や機能を相互に補完しあいながら、一体となって魅力あるまちづくりを進めていくことが求められています。

## 合併の効果

### 1. 機能の相互補完による総合力の向上

#### ● 職住一体型のまちづくり

産業適地を活かした利便性の高い職住一体型のまちづくりが進められます。

#### ● 観光資源のネットワークと集客・交流機能の強化

地域の恵まれた自然景観、歴史的観光資源等を活かした新しい観光ルートの開発や大阪、名古屋の大都市圏を結ぶ広域幹線道路を活かした集客・交流機能の強化が図れます。

#### ● 農産物の新ブランドの形成

地域で生産される茶や米を活かした新しいブランドの形成などが図れます。

#### ● 水源地の環境保全

水源地周辺の環境保全・保護に一体的、計画的に取り組むことができます。

#### ● 都市機能の相互補完

商業機能や文化機能などの都市機能が相互に利用できます。

### 2. 住民サービスの維持向上

専門的な福祉施設の利用など行政サービスのメニューが豊富になり住民サービスの向上が図れます。また、行政組織においては、行政需要に応じて職員を配置するなど行政サービスの充実・強化が図れます。

### 3. 行財政運営の効率化と基盤強化

行政サービスにおいて、スケールメリットを活かして行財政運営の効率化を一層進めるとともに、重複する行政経費の削減により財政基盤の強化が図れます。

# まちづくりの基本方針



## 人権の尊重、文化の創造、教育の充実を進めるまちづくり

- 教育施設の計画的な整備とともに教員研修機能の充実を図ります。
- 高度情報化社会の基盤として高速大容量の情報通信網の整備を進めます。
- 地域の特色ある文化を継承、発展させるための取り組みを進めます。

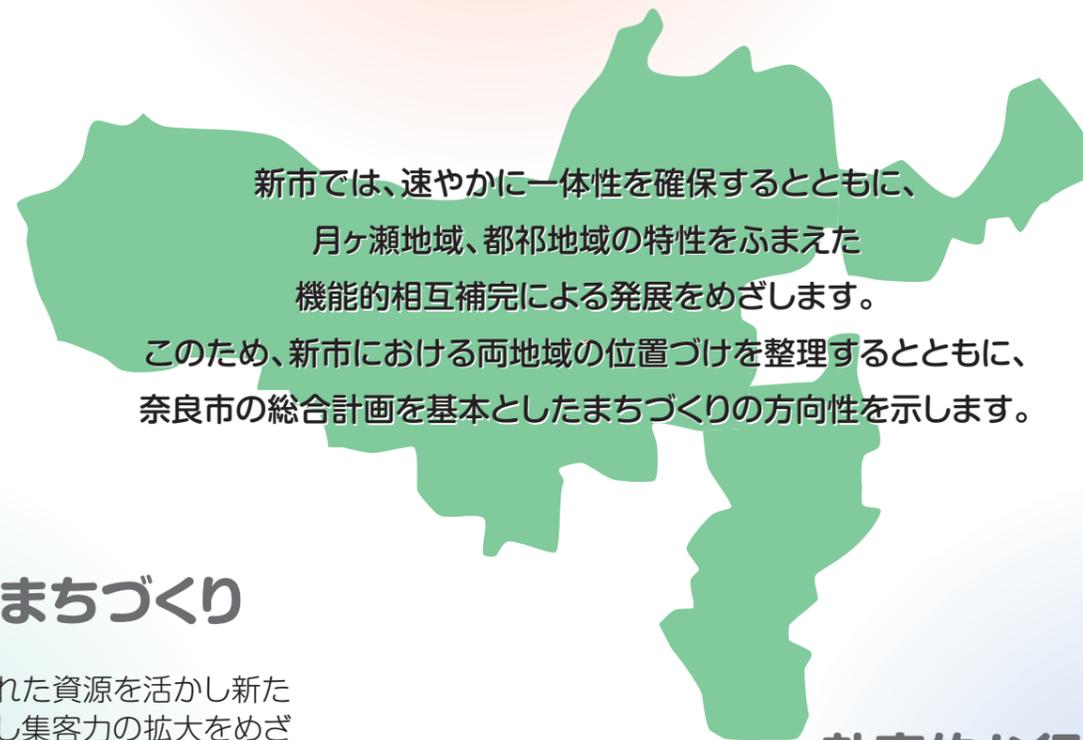
**主な事業** 学校教育施設の改修、幼稚園建築事業  
教育センター建設事業  
地域ケーブルテレビ施設整備事業 (CATV施設整備事業)



## 福祉のまちづくり

- 市域の拡大に併せ、保健、衛生分野における各種施設機能のいっそうの充実と保育基盤の整備、保育内容の充実を図ります。

**主な事業** 保健所等複合施設建設事業  
新火葬場建設事業  
保育所建設事業



新市では、速やかに一体性を確保するとともに、月ヶ瀬地域、都祁地域の特性をふまえた機能的相互補完による発展をめざします。

このため、新市における両地域の位置づけを整理するとともに、奈良市の総合計画を基本としたまちづくりの方向性を示します。

## 地域を支える産業を育成するまちづくり

- 名勝「月ヶ瀬梅林」や道の駅「針テラス」などの優れた資源を活かし新たな魅力を創造するための施設整備や事業を展開し集客力の拡大をめざします。
- 各地域の特産品を活かした新ブランドの形成に取り組むとともに、生産から加工・流通・販売に至るいわゆる6次産業化を図り、地域産業の振興に努めます。
- 都祁地域において産業基盤整備を進め、新規産業の立地を促進し新たな雇用創出を図ります。

**主な事業** 月ヶ瀬地区梅林整備事業  
(整備計画策定事業、梅公園整備事業、梅の文化博物館建設事業、梅林周遊道路整備事業)  
農林産物直売所整備事業、奈良東部広域営農団地農道整備事業  
新規優良企業誘致事業、大和高原工業団地開発計画



## 効率的な行政運営の推進

- 各種の行政サービスを身近で利用できる環境を整備し、住民サービスの向上に努めます。
- 公共施設を高速大容量の通信回線で結び効率的な行政運営をめざします。

**主な事業** 庁舎建築事業  
地域イントラネット基盤施設整備事業



## 環境保全と安心・快適なまちづくり

- 月ヶ瀬、都祁地域と奈良市中心部を結ぶバス路線を始めとした交通体系の整備を進めるほか、関係機関との連携による広域幹線道路の整備や生活道路の利便性と安全性の確保に努めます。
- 豊かな自然とふれあいながらスポーツやレクリエーションを通じて交流を広げるための公園整備を進めます。
- 市民の安全、安心な生活を支える基盤として、上水道や防災、消防関連施設の整備を行います。

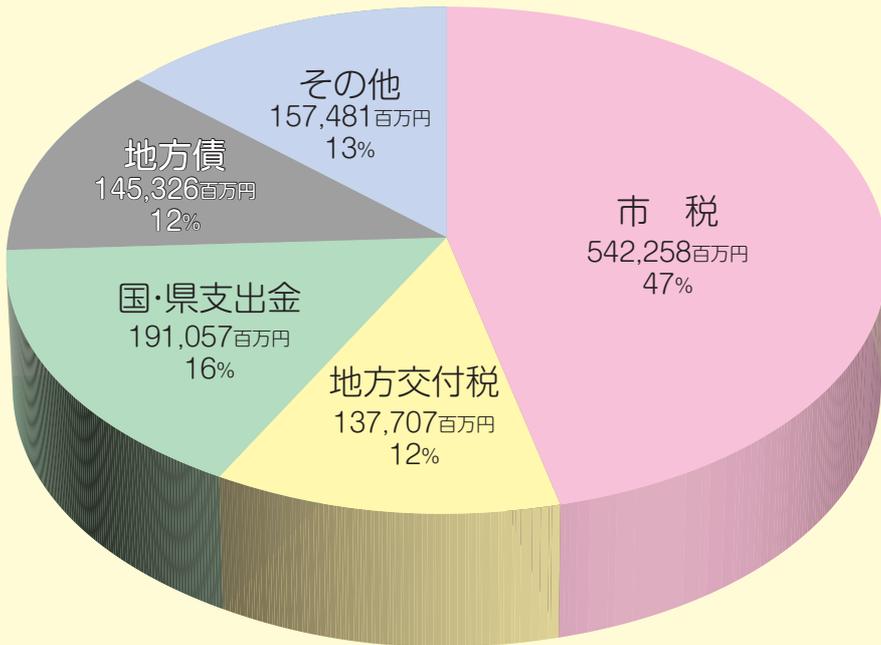
**主な事業** バス路線・コミュニティバス導入事業  
国道改良事業 (国道25号、国道369号)  
県道改良事業 (奈良名張線、笠置山添線、福住矢田原線、月ヶ瀬梅林山添線、月ヶ瀬三ヶ谷線、上野南山城線)  
市道新設事業 (中ノ川・梅美台線、一本松小倉線)  
合併記念公園建設事業  
水道事業、消防防災関係事業、消防車両整備事業  
急傾斜地崩壊対策事業

# 財政計画

新市における財政計画は、平成17年度から平成26年度までの10年間について歳入・歳出の各項目ごとに過去の実績等により、今後も健全な財政運営を行うことを基本とし、合併による影響額などを反映させて策定しました。

## 歳入 (10年間)

歳入総額：1兆1738億29百万円



■ **市税** 市民から納めていただく市の税金です。具体的には、市民税・固定資産税・軽自動車税・市たばこ税・特別土地保有税・入湯税・事業所税・都市計画税です。

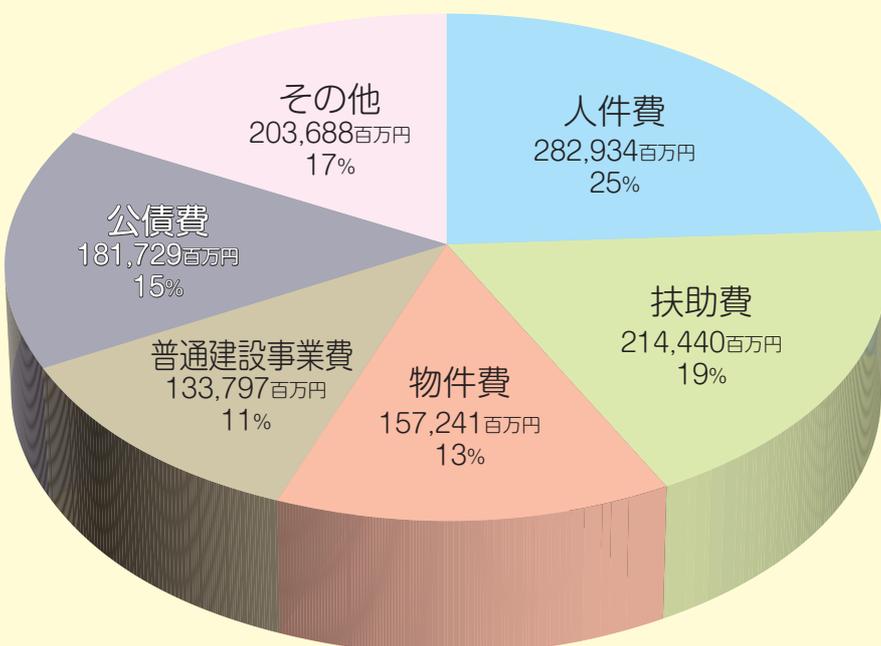
■ **地方交付税** 全ての地方公共団体が一定水準の行政サービスを提供できるように、所得税や法人税・酒税・消費税などの国税から一定の基準により地方公共団体に配分される交付金です。

■ **国・県支出金** 特定の仕事に対して国や県から支出されるもので、生活保護費の負担金、学校や道路建設の補助金などです。

■ **地方債** 道路整備や学校建築など、一時的に多額の費用がかかる事業を実施するために、市が長期にわたり借り入れする資金のことです。

## 歳出 (10年間)

歳出総額：1兆1738億29百万円



■ **人件費** 職員給、議員報酬、各種委員報酬、退職金など、常勤職員や非常勤の特別職の勤労の対価として支払われる一切の経費です。

■ **扶助費** 福祉の法令などに基づいて市民に直接又は間接的に支給される費用です。おもに生活保護費や児童手当、児童扶養手当、就学援助費などです。

■ **物件費** 賃金や旅費、交際費、需用費（消耗品費・光熱水費など）、役務費（手数料など）、委託料など、資産として残らない消費的な経費の総称です。

■ **普通建設事業費** 道路、橋、学校、庁舎などの公共用・公用施設の整備・建設・取得にかかる事業費用です。

■ **公債費** 特定の事業や減収補てんのために国や金融機関から借りた地方債の返済金とその利息です。

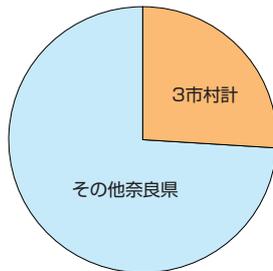
■ **その他** 維持補修費、補助費、積立金、繰出金などです。

# DATA

## ■人口

新市となる3つの市村の人口を合計すると37万4,944人となり、奈良県全体の人口144万2,795人の26%を占めます。

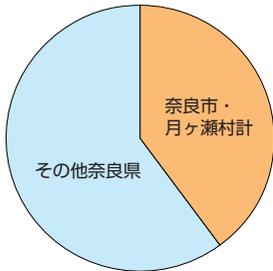
〔平成12年 国勢調査〕より



## ■観光客数

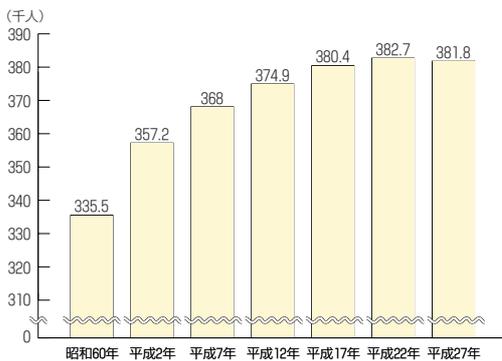
世界遺産を抱える奈良市と月ヶ瀬梅林などを訪れる観光客数を合計すると、年間1,414万人となり、奈良県全体の観光客数3,549万人の40%を占めます。

〔平成14年度 奈良県統計〕より



## ■将来人口

新市の人口は緩やかに増加を続け、少子高齢化の進展により、平成22年頃に38万人余りでピークを迎え、減少に転じると見込まれます。



## ■数字で見る3市村

(平成16年4月1日現在)

	奈良市	月ヶ瀬村	都祁村	3市村計
面積	211.60km <sup>2</sup>	21.35km <sup>2</sup>	43.89km <sup>2</sup>	276.84km <sup>2</sup>
総人口	366,295人	1,924人	6,787人	375,006人
世帯数	143,052世帯	515世帯	1,971世帯	145,538世帯

## ■産業構造

〔平成15年度 奈良県市町村要覧〕より

	奈良市	月ヶ瀬村	都祁村	3市村計
第一次産業	2,336人	323人	402人	3,061人
第二次産業	38,147人	262人	1,110人	39,519人
第三次産業	119,898人	447人	1,722人	122,067人
合計	165,105人	1,032人	3,267人	169,372人

(百万円)

農業粗生産額	4,066	1,432	1,330	6,828
工業出荷額	171,004	1,857	36,362	209,223
商業販売額	727,237	1,383	12,754	741,374

## ■財政状況

〔平成14年度 地方財政状況調査〕より

	奈良市	月ヶ瀬村	都祁村	3市村計
歳入総額(千円)	106,611,264	1,814,966	3,418,164	111,844,394
歳出総額(千円)	104,905,717	1,665,204	3,287,255	109,858,176
財政力指数(3年平均)	0.825	0.240	0.466	—
経常収支比率	89.4	87.7	89.9	—
公債費比率	14.1	23.0	22.8	—
起債制限比率	11.3	9.1	11.8	—

## ■公共施設の状況

〔平成14年度 公共施設状況調査〕より

	奈良市	月ヶ瀬村	都祁村	3市村計
市村道(m)	1,269,957	82,394	125,637	1,477,988
保育所	19	1	6	26
幼稚園	40	0	0	40
小学校	44	1	4	49
中学校	19	1	1	21
公民館	50	7	12	69
診療所	7	1	1	9

お問い合わせは下記連絡先までお寄せください

### 奈良市・月ヶ瀬村・都祁村合併協議会 (奈良市役所合併対策室内)

〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1番1号  
 電話：0742-34-4927 FAX：0742-34-4928  
 ホームページ：<http://www.city.nara.jp/gappei/index.htm>  
 発行日：平成16年12月